

【本部】近畿地区肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会・校長会 合同冬季研修会

- 日時：令和7年1月23日（木）
- 開催場所：・大阪府立男女共同参画・青少年センター
・Zoom によるオンライン配信
- 参加者：会場にて 大旗会長・副校長
オンラインにて 本部役員2名・校長
- 講演内容：演題「子どもの成長・発達を見据えた栄養支援～特別支援学校編～」
講師 鳥井隆志氏【尼崎総合医療センター 管理栄養士】



今回は鳥井先生に、子どもの成長に欠かせない栄養や、効果的な摂り方についてお話を聞かせていただきました。支援学校に通う子どもたちの中には、胃ろうやチューブ食を利用している場合も多く、栄養剤では補いきれない栄養をどう工夫して摂取するかが課題となります。その一つの方法として、さまざまな食材を工夫したミキサー食が紹介されました。

また極端な偏食への対応として「フードチェイニング」という方法も教わりました。この方法は、子どもの好きな食感や味を残しながら、少しずつ新しいものにチャレンジしていくものです。たとえば、好きなものと似た食材を少しだけ取り入れてみたり、見た目や味を少しずつ変えてみたりすることで、無理なく食べられるものを増やしていく工夫がポイントだそうです。

講演の中で特に印象に残ったのは、栄養バランスを整えることが子どもたちの健康に寄与するだけでなく、さまざまな食材に親しむことで災害時などの非常時にも柔軟に対応できる力を育むというお話です。この視点は、日々の取組に、より大きな意義を感じさせてくれるように思えました。親として、こうした取組には時間や手間がかかることもありますが、無理のない範囲で少しずつ取り入れる重要性を改めて認識しました。今後も今回学んだ知識を活かし、子どもたちの健康と成長を支える工夫を続けていきたいと思っています。